

あけましておめでとうございます。とはいえ、一月もすでに7日。新年気分はもうとっくに吹き飛んでいることと思います。年賀状からは遅れましたが、メルマガ24号をお届けします。

卯年は経済では大きなできごとが起こる年とも言われています。どんな世の中になっても教育の重要さは変わりません。今年もネットワークではいろいろな企画を考えております。どうぞ皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

◆ 目次

【1】最新活動報告

1. 「経済教育ネットワーク講演会開催
2. 「経済教育ネットワーク大阪部会（第21回）開催

【2】イベントカレンダー

これからの予定をまとめて掲載します

【3】授業のヒント

【1】最新活動報告

1) 経済教育ネットワークシンポジウムが開催されました。

本年度の講演会とシンポジウムは、2010年12月4日（土）に同志社大学至誠館において開催されました。プログラムは以下の通りです。なお、敬称を略させていただきます。

開会挨拶：経済教育ネットワーク代表 篠原総一

講演： 時事問題をどう教えるか

地主 敏樹（神戸大学大学院経済学研究科）

基調講演と助言：「効率と公正」「幸福、正義、公正」をどう教えるか

林 敏彦（同志社大学大学院総合政策科学研究科）

パネルディスカッション

司会 大倉 泰裕之（千葉県立松戸秋山高等学校）

問題提起 岩野 清美（中間市中間東中学校）

小栗 英樹（宇都宮大学教育学部附属中学校）

峯本 英紀（広島県立呉昭和高等学校）

年末の多忙な時期にも関わらず、地元関西をはじめとして、東京などから多数の関係者が参加して、充実した会となりました。内容の詳細に関しては、以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/activity/ws/symposium2010..html>

2) 大阪部会

第21回大阪部会が、12月25日、梅田の同志社大学大阪サテライトで開催されました。篠原代表からの報告、入試プロジェクトの報告などがなされました。また、参加の先生方との懇親会も終了後行われ、一年を総括しました。

内容の概略は、ネットワークのHPに掲載予定です。ご確認ください。

【 2 】 イベントカレンダー

これからの主な予定を掲載します。

■ 経済教育ワークショップ「福岡」を開催します

日時：2011年1月11日（火） 13時40分～17時00分

場所：福岡県立修猷館高等学校社会科室

内容：教科書で国際経済を教える（同志社大学：篠原総一）

経済の入試問題を解剖する（小石川中等教育学校：新井明）

このワークショップは、福岡県高等学校公民科研究会との共催で実施するもので、今回で二回目になります。福岡県の先生方は是非ご参加下さい。

参加方法などは以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/activity/ws/WS%20Fukuoka.pdf>

■ 経済教育ワークショップ「鹿児島」を開催します

日時：2010年2月5日（土） 13時00分～16時00分

場所：鹿児島県総合教育センター

内容：講演：中学校公民「教科書」を読み解く

教材提案「住宅メーカー 職場シュミレーション」

討論：ゲーム教材の使い方

参加方法などは以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/index.html>

■ 経済教育ワークショップ「札幌」を開催します。

日時：2010年2月20日（日）

場所、内容は確定次第HPにアップする予定です。

■ 他に東京部会、大阪部会、ワークショップ「沖縄」などが計画されています。

内容が決まり次第HPにアップいたしますのでご確認下さい。

【 3 】 授業のヒント

昨年末の日本経済新聞の「やさしい経済学」に興味深い話が掲載されていました。名古屋市立大学の横山和輝准教授の「金融教育の歴史に学ぶ」という連載の最終回（12月20日掲載）の解説です。

解説では、金融システムの進化には、制度的な整備だけでなく、金融契約の当事者の認識能力を高める必要がある述べられています。その傍証として、昔の「算術」教育の例が取り上げられていました。

1902年刊行の高等小学校2年生用の教科書の問題です。高等小学校2年は、現在の中学2年に相当します。問題は、「1株の時価20.2円の株を100株売り、その代にて1株80円の株を買えば、幾株買いうるか？」

「軍事公債の利子毎回10円ずつ入る人の所有額面高如何」というような問題が載っているとのこと。現代の中学生はこの問題を解けるでしょうか。

それより、「算術」の教科書にこの種の金融リテラシーを高めるような問題が載っていること事態がびっくりです。

入試プロジェクトをまとめている中で、旧制中学の入試問題を集めた本を参照したことがありましたが、旧制中学や女学校の入試にも同じような金利計算の問題が出題されていました。金融教育という点では、昔の方が盛んで、大事なことを教えていたことが解ります。横山准教授は、このような金融教育を受けてきた世代が、戦後の復興や高度成長のリーダーとなっていくと指摘しています。

教育は100年の計。私たちの責任も重大です。

【 4 】 編集後記 (みみずのたはこと)

年末年始は、何か仕事をしようとする人間にとっては、かき入れ時です。とにかく世の中が静かです。こもることが出来ます。かく言う編者も、昨年から今年にかけて、頼まれた原稿のドラフトをいくつか書くことができました。これで負債をちょっと払えるかな。暑い夏では、ここまで集中することはできません。寒いから、出来るのです。正月は飲み続けるゾという向きからは、なんて辛気くさいのだと思われるかも知れませんが、これもまた楽しみです。でも、正月休みはすぐ明ける。それが残念。 (新井)

=====
登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は以下のアドレスへ
ご連絡お願いいたします。

contact@econ-edu.net

=====

◆◇ 編集・発行 : 経済教育ネットワーク
----- (C) Network for Economic Education ◆◇